

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	令和6年度	令和5年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	447,592	270,561	177,031
減価償却費	1,534,049	1,598,268	△ 64,219
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 91,389	10,577	△ 101,966
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,994	2,187	△ 193
貸倒引当金の増減額(△は減少)	431	527	△ 96
その他引当金の増減額(△は減少)	△ 73,422	△ 75,836	2,414
長期前受金戻入額	△ 298,856	△ 296,937	△ 1,919
受取利息及び配当金	△ 1,501	△ 566	△ 935
支払利息及び企業債取扱諸費	68,133	71,276	△ 3,143
固定資産除却損	47,303	56,677	△ 9,374
固定資産売却損益(△は益)	△ 3,506	△ 3	△ 3,503
過年度損益修正損	11	437	△ 426
過年度損益修正益	—	△ 9	9
未収金の増減額(△は増加)	△ 4,446	△ 21,904	17,458
前払金の増減額(△は増加)	△ 30,228	—	△ 30,228
貯蔵品の増減額(△は増加)	△ 6,486	2,304	△ 8,790
未払金の増減額(△は減少)	△ 24,731	△ 118,241	93,510
預り金の増減額(△は減少)	△ 2,192	△ 6,345	4,153
小 計	1,562,756	1,492,973	69,783
利息及び配当金の受取額	634	580	54
利息の支払額	△ 68,133	△ 71,276	3,143
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,495,257	1,422,277	72,980
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 1,183,889	△ 1,485,359	301,470
有形固定資産の売却による収入	5,206	7,388	△ 2,182
工事負担金等による収入	340,217	248,876	91,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 838,466	△ 1,229,095	390,629
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	750,000	700,000	50,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,117,273	△ 1,055,654	△ 61,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 367,273	△ 355,654	△ 11,619
資金増加額 (又は減少額)	289,518	△ 162,472	451,990
資金期首残高	5,205,448	5,367,920	△ 162,472
資金期末残高	5,494,966	5,205,448	289,518

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュ・フロー（CF）で表される。

業務活動によるキャッシュ・フローがプラス、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローがマイナスであり、本来の業務活動による資金で投資や借入金の返済が行えている状態である。

資金期末残高は、前年度に比べて2億8,951万8千円増加し、54億9,496万6千円となった。